

来年度の検討項目（案）

- ・本年度の検討を通じて示された以下の項目に関する課題、論点、方針等について、次年度以降も引き続き検討する。

1. 有明の丘研修

○地域の災害対応力強化を目指し、有明の丘研修の受け入れ枠(定員)を倍増する。

○受講者拡大に伴う対応方針や、内容の見直しを進める。

① 防災基礎コースのリニューアル

○主たる受講対象者を市町村職員として、教えるべき内容・範囲を見直すとともに、学習内容・時間のコンパクト化や選択制の導入などの効果的な学習の提供方法についても検討する。

○多くの人に防災基礎コースを学習してもらえるよう、さらなる受講対象者の拡大(業界団体(防災、保健医療福祉等))を検討する。

○R7 年度から災害対策基本法の規定に基づく指定地方公共機関を受講対象とする。

② 各コースのリニューアル

○災害対策コース:令和7年度内にリニューアル(15分区分りの単元構成、職位別研修単元の創設、職位別演習の実現)完了を目指す。

○組織運営コース:令和7年度よりリニューアル(15分区分り、職位を意識した内容・演習の見直し)の検討を開始し、有明の丘研修の場で試行・検証を進める。

2. 地域研修

○地域の要望(応募)に応じて、実施団体を拡大(16地域)する。

○地域が応募しやすくなる取組みの充実を図る(地域研修テーマの充実、カリキュラム・演習の標準化、有明の丘研修との連携等)。

○地域が自立して研修を実施するために必要な支援内容の検討を進める(企画・運営のプロトタイプ化等)。

3. 災害対応 e ラーニング

○利用者拡大のため、周知・広報の方法について検討する(地域研修の活用等)。

4. 研修の周知・募集

○利用しやすく、視認性の高いホームページへリニューアルする。

5. 人的ネットワーク

○有明の丘研修の場における交流の取組みを検討する。

6. 研修指導要領

○リニューアルに合わせた効率的な内容・構成の見直しなどを検討する。

7. 能力評価

○テスト WG で示された方針を踏まえ一部コースでテスト作成を進め、有明の丘研修で試行・評価し、テストの仕組みを改善する。